

芸術

文化立県21ビジョン策定懇話会 中間報告	1
文化立県と芸術、県芸術祭の今後	2～3
第34回大分県芸術祭賞等 受賞者のよろこび	4～5
加盟芸術文化団体の活動状況	6
平成10年度大分県芸術文化基金事業報告	7
事務局だより	8



大分県芸術文化振興会議

№105

平成11.3

発行人：仲町謙吉 編集人：後藤一郎 (題字：西村春彦)



文化立県21ビジョン策定懇話会 中間報告

大分県芸術文化振興会議

会長 仲町謙吉

大分県では、先に「豊の国文化創造懇話会」、続いて「豊の国文化創造県民会議」の提言などを踏まえて、平成4年3月に策定した「文化行政推進指針」に基づいて、各種の文化行政施策を施行されてきたが、指針策定後7年が経過し、急激な社会経済状況の変化やそれに伴う県民の価値観やライフスタイルの多様化が見られる。自然や文化に対する関心が高まる中で、新たな視点にたった文化行政の展開を求める声が強まってきている。

「文化立県21ビジョン策定懇話会」は平成9年9月に設置され、県内各層各分野から30名の委員で構成され、中央の有識者4名のアドバイザーを加え組織された。当ビジョン策定懇話会は、21世紀に於ける「物もゆたか、心もゆたかな豊の国づくり」を目指した大分県文化創造に向けての「方向性」や「あり方」を提言すると共に、「豊の国文化立県21ビジョン」の策定に質することを目的としている。

懇話会ではまず、内外の産業・経済社会の現状を広く見渡し、また歴史の歩みを振り返りながら、文化をどうとらえるか、「今なぜ文化立県か」というような基本的問題について論議を重ねた。そして「文化立県21ビジョン」の策定に当たっては、特に「文化立県」をいうに際して踏まえるべき基本的な理念と目標をしっかりとわかりやすく提示することを考えた。その概略を述べると①自然（美しい自然と風土が文化を育む土壌）②継承（守る・のこす・受け継ぐ・伝える、ことから歩み出す）③多元性（響きあい高めあう地域と地域・多元的で自立した文化）④進取（大分からアジアへ・世界へ）⑤ステージ創り（豊の国のすべてが文化のステージとなる）⑥文化する（一人ひとりからの出発・文化は人の心を耕す）⑦彩り・薫り（耕す・造る・交易する営みの中に文化がある）等、7つのキーワードを踏まえ、さらに、④芸術文化 ⑤伝統文化 ⑥文化の継承 ⑦地域と文化 ⑧生活と文化 ⑨産業と文化 ⑩国際と文化 ⑪情報と文化 ⑫環境と文化、さらに、⑬趣旨の実現に向けての指針・具体的提言となるわけである。文化立県が現実化するよう今後の施策に大きな期待をする。



伊藤阿二子（県美協会員）



文化立県と芸振、県芸術祭の今後

大分合同新聞社特信局顧問
大分県芸術文化振興会議理事

狭 間 久

10年前、豊の国文化創造県民会議が平松知事に「大分県民の21世紀における文化創造のスプリング・ボードとなるイベント」として「国民文化祭」の誘致を提言し、昨年10月に「第13回国民文化祭おおいた98」が実現しました。そして予想以上の成果を挙げました。特に最終日の10月26日に平松知事が「豊の国文化立県」を宣言したことは、県民会議の提言でも予想していなかった展開でした。

この10年間に、バブルが弾け、経済の「右肩上がりの成長」がストップ、21世紀は物質的豊かさの追求はほどほどにして、心の豊かさ、「文化」を求めたい、という機運が高まったことは確かです。21世紀は「文化の時代」といわれるゆえんですが、大分県が全国に先駆けて「文化立県」を宣言したことは、機を見るに敏な平松知事ならではのこととはいえ、実は大変な決断とも言えます。

「文化立県」という場合の「文化」は芸術文化に限らないからです。知事の諮問機関として平成9年9月に設置された「文化立県21ビジョン策定懇話会」（座長は仲町謙吉芸振会長、委員30人）でも芸術文化はもちろんですが、その他の文化の重要性が幅広く論じられました。1年半の論議の結果は2月に「文化立県の実現に向けて」の提言として平松知事に提出されました。その中の具体的提言は「芸術と文化」「伝統と文化」「生活と文化」「教育と文化」「産業と文化」「国際化と文化」「情報化と文化」「環境と文化」と8項目にわたっています。芸術文化が一分野であることが分かると思います。「文化立県宣言」でうたわれたように「生活の営みの時間と空間のすみずみまで、文化の彩りと薫りが感じられる大分県の実現をめざす」のですから当然のことでしょう。

各項目の内容は省略しますが、これらの提言を受けて、県庁内の各部局代表からなるビジョン検討委員会で具体的施策が立てられます。例えば、一村一品運動も文化立県運動に組み込まれ、その名が出てこなくなることも考えられます。一村一品運動の20年は文化立県に行き着くまでの過程であり、文化立県の根底にある思想というとらえ方からです。

こういう考えには現場の抵抗もあるでしょうが、「文化立県」という新しい、大きな県民運動を始めれば、当然そういうふうに吸収されざるを得ないわけです。

同じことは、芸術文化についても言えます。当面の関心事は芸振と県芸術祭がどうなるか、ということだと思います。提言の中の「実現に向けて」に「国民文化祭の成果の継承」と「文化行政の文化化」があります。

前者は国民文化祭の成果を地域地域でしっかり継承し、さらにより文化的なものにしていくため「おおいた文化祭（仮称）」の開催を提起しています。これは「文化立県」宣言の時から平松知事が「県民文化祭（仮称）」として語っているところです。提言では「おおいた文化祭は、過去34回の実績を持つ大分県芸術祭との整合を図りながら、国民文化祭と同じく、あるいはさらに広いジャンルで、毎年、一定期間、県内各地での開催を実現したい」としています。

「おおいた文化祭」の開催は、今年から実施されることはまず間違いないでしょう。その時期も、これから具体的内容を決めることとなりますから、秋の県芸術祭開催期間と同じころになるでしょう。そうなると県芸術祭との整合をどうするか、です。あるいは重なり合うことになるかもしれません。その場合、県芸術祭の名前は消えてしまうかもしれません。文化立県の大きな運動の前には一村一品運動の名が消えても、というほどですから、その可能性はあります。

次に後者の「文化行政」についてですが、提言にはこうあります。

「文化立県をめざすにあたっての、行政の仕組みについては、まず文化立県の事業を主管する組織の設置を提起したい。その際、国や自治体の既成の枠組みにとらわれず、大分県独自の地域的特色を踏まえた組織づくりをすべきである」「現在知事部局と教育委員会に分かれている文化・文化財行政の体制については、抜本的な見直しと再編成を図るべきであろう」

芸振の事務局である教育委員会の文化課は知事部局の文化振興課と編成しなおすべきという提言です。そして新しく出来る組織が文化立県の事業を主管することになるのでしょうか。当然、その新しい組織が「おおいた文化祭」の開催を担当することになるし、芸振の事務局にもなるのではないのでしょうか。

今年は知事選挙があるため、骨格予算ですが、すでに県の企画部では文化行政の再編成や「おおいた文化祭」の開催を念頭に入れながら、予算要求をしているようです。

ということで、新年度からは芸振にとっても、県芸術祭にとっても大きな転換の時を迎えることは確かでしょう。ただしそれは「文化立県」という県の大方針のもとでの変革ですから、決して悪いようにはならないでしょう。とはいえ、仮に34年の歴史を持った県芸術祭の名前がここで消えてしまうことがあれば、やはりいくばくかの抵抗を感じる会員もいることでしょう。要は大分県の芸術文化の振興・発展のため、長い目で見ることが大切だと思います。



第13回国民文化祭おおいた98 オープニングパレード (H10.10.18)

第34回大分県芸術祭賞等受賞者のよろこび



芸術祭賞を受賞して

画 家 仲 町 謙 吉

大分県美術協会からの推せんにより、図らずも、第34回大分県芸術祭で、権威ある芸術祭賞をいただき感激いたしております。長い県展出品で、受賞も何回かありましたが、今年のように、前年に続いて最高賞をいただいた事は初めてのことで最も嬉しく思っております。毎年中央から違った審査員をお招きするため、連続した受賞は大へん嬉しいことです。しかし主催団体の一員で、お世話をする立場から遠慮すべきではないかと考え、何遍かお断り申しましたが、会の組織上のことではなく作品のことだからという理由でした。作品が認められることは大変嬉しいことで、年齢を忘れさせられます。大変有難うございました。今後共努力していきたいと思っております。



アマチュアビッグバンドジャズの発展

スウィングエコーズ・ジャズオーケストラ

代 表 木 本 直 伸

この度は第34回大分県芸術祭開幕行事「SING SING SWING」を開催したことに對し、芸術祭賞を受賞しましたことをメンバー一同大変喜ばしく思っています。ジャズの日本での歴史は約50年になりますが、大分ではまだクラシック界に押されています。しかしながら、我々が最も尊敬する人であり、戦後別府でジャズを始め、現在ニューヨークで活躍されているピアニストの秋吉敏子さんが、昨年ジャズの本場アメリカでジャズの殿堂入りを果たされたことは大分県民の誇りであり、大分でのジャズ人気も今後ますます上昇すると期待しています。

秋吉敏子さんは世界各地でオーケストラを率いて勢力的に演奏活動を行っています。我々のオーケストラも今年10月にまたビッグなゲストを迎えコンサートを行う予定です。今回の受賞を機により一層練習を重ね、ビッグバンドジャズの発展に尽くしたいという思いも新たにがんばって行きたいと思っております。



文化するけん大分県、高文連もがんばるけん

大分県高等学校文化連盟理事長 河内山 直

芸術祭中幕行事「高文連発表会」によって芸術祭賞を受賞し、高文連の歴史に一段と輝きが増しました。第1回芸術祭に演劇部が参加して以来、34回目にしてはじめて芸術祭主催行事に加わることができました。これもひとえに日頃からお支援をいただいている県教育委員会をはじめとする皆様方のおかげと感謝いたしております。

高文連の活動は部活動ですから専ら放課後の活動です。授業終了後、やる気のある生徒が集まり、気力溢れる顧問教師に支えられて成り立っています。現在16専門部がありますが、ほとんどの部が先般おこなわれた「国民文化祭おおいた98」に関わりを持ち、そして活躍をしました。

高校生の活動ですから、専門家から見れば不完全な面が目立つかもしれませんが、生徒たちは真剣そのものです。それが高文連の持ち味であり、いつの日かきっと輝くようになる、高校で各種の芸術や文化に親しんだ生徒たちが今後の大分県の文化を支えてくれると期待しています。文化するけん大分県、高文連もがんばるけん。

第34回大分県芸術祭賞等受賞者のよろこび



県民の手により「文化立県豊の国」・大分の為に

コール銀河代表 石橋 静子

大分県の逸品・瀧廉太郎の作品を国内は勿論、欧米、中国に発表し続けて23年目に大分県芸術祭賞を受賞できて、長い年月の努力の結果が認められ、この上ない喜びであります。会員一同にとって大きな励みとなりました。今後も各方面のご支援を受けながら、私達の研鑽の成果として創造する音楽により「文化立県・豊の国」の遠隔までも、県民が情操豊かに、活力溢れて幸福に生きる力となる事ができるならば努力を惜しむものではありません。文化の薫り高い芸術空間も提供するべく、研鑽、努力も積み重ね、レベルの高い音楽で、県民の手によって、県民の為の文化の創造に貢献したいと思います。

会員一同この受賞を機会に、心新たに邁進いたし、この受賞にお応えいたします。



願・書を通じて情緒豊かに

書道家 大塚 静峰

予期もせず、12月22日大分県芸術祭功労賞を受賞致しました。誠に光栄に思い感謝申し上げます。私は昭和22年7歳の時、医師に「小児麻痺」再起不能と宣告され、右手が満足に使えませんでした。が、自分に負けることなく、挫けることなく「継続は力」を信じ今日までやって来ました。その間いろいろと賞を頂きましたが、今回、この様に大きな大分県芸術祭功労賞を頂けたことは未だ夢の様です。しかし功労して来たから頂けたなどと言う有頂天な気持ちを持つことは出来ません。こんな私でもここまでやってこれたのです。平松知事も一人一文化に力を入れておられます。「大塚、これからしっかり働いてくれよ」と言われているのだと受け止め、これからが功労の場だと思い、書を通じて世界の子供達に勇気と呼び覚ます一石の役割を果たせれば、人が失ないかけている情緒・穏やかさを書を通じて吹き込んでいけたら、と願って精進して参ります。



奨励賞を頂いて

後藤 豊政美

第34回県芸術祭で思いもよらぬ奨励賞を頂き、こんな嬉しいことはありません。豊政美会の会員の皆様も大変喜んでくださいました。嬉し涙が出てきたほどです。踊りをしていて本当によかったと思います。

この賞を頂くにあたりましては、日本民謡研究会九州支部長田近豊次先生や会員の皆様方のお力添えがあればこそと感謝致しております。ありがとうございました。

40年前、病弱な私が健康になりたくて始めた民踊。踊りは体だけではなく、心の健康にも役に立ちます。詩を口ずさみ手振り身振りで踊る時、どんなつらいことがあっても一時的に忘れられ、精神が安定します。また、踊りの後、お茶を飲みながら、世間話に花を咲かせ、お互いに励まし、勇気づけ合い、笑って終わりにします。たわいもないことのようにですが、これがやがて、家庭の小さな灯を一つ一つともし、明るい家庭を築いてくれるものと信じて、今日まで踊り続けてまいりました。

今年、80才になりましたが、健康であるかぎり「踊りの輪を人の輪に」をモットーに頑張りたいと思います。

加盟芸術文化団体の活動状況



天領日田を見直す会

会 長 宮 本 幸 生
事務局長 諫 山 昭 子

1979年4月18日、日田市丸ノ内岳林寺(浄土宗)で「天領日田を見直す会」が発足しました。参加者28名。
会長 首藤助四郎 副会長 石松光夫。会の目的は日田の歴史研究と文化活動。
例年の事業としては次のような活動を行っております。

1. 会誌発行 部数300~500 5月
2. 文化講演会 於 別府大学日田教室 部外からの招聘 10月
3. 歴史勉強会 郷土史及びその他歴史上の事を勉強する。
4. 研修旅行 九州・中国の史跡を訪ねる。1997年から1泊旅行。
5. 毎年1回の定期総会と数回の役員会を行い、その年、及び新年度の活動方針を定める。
6. 会の速報 年6回

現在会員 104人

会長 宮本幸生

事務局長 諫山昭子



合唱団「藍」

代 表 橋 本 亮 子

一本一本の糸を丹念に紡ぎながら聴いて下さる方々の心を染めることができるような歌を歌っていきたいという想いで生まれました“藍”も今年で10周年を迎えます。

結成時の心で歌い続け、今年7月には記念コンサートを予定しております。聴いて下さる方々の心と私共の心にかけて糸がより深い“藍”色となることを願い日々練習を重ねております。また、私共合唱団は、お母さんコーラス九州大会、お母さんコーラスフェスティバル、合唱祭と毎年参加させて頂いております。

昨年津久見市で開かれました国民文化祭「合唱の祭典」での他の合唱団の方々と交流させて頂いた感激をステップとして今年は飛躍の年と考えております。これからも私達の歌声が優しく響き渡る様、丁寧に歌い続け、大分県の文化に貢献できます様努力を重ねて参りたいと思います。お母さんとしての優しさを伝えられる合唱団として……。

平成10年度 大分県芸術文化基金事業報告

優れた舞台芸術並びに美術鑑賞をしていただくために県内17会場で「ファミリー芸術劇場」「学校巡回公演」「文化キャラバン」などの事業を行いました。

会場の皆さんから大変喜んで鑑賞していただきました。

平成10年度 基金事業報告

種 別	市町村名	鑑賞人員	会 場 名	実施時期	公 演 団 体 名
ファミリー芸術劇場	臼 杵 市	1,000人	臼 杵 市 民 会 館	5月24日	大分マンドリンオーケストラ
〃	三 重 町	1,000人	大野広域文化センター	2月7日	男 声 合 唱 豊 声 会
学 校 巡 回 公 演	安 岐 町	80人	西 武 蔵 小 学 校	5月19日	大分県人形劇サークル協議会
〃	上 津 江 村	90人	上 津 江 小 学 校	5月19日	カ サ ・ デ ・ ギ タ ー ラ
〃	直 入 町	120人	長 湯 小 学 校	5月30日	県 庁 職 員 吹 奏 楽 団
〃	〃	50人	下 竹 田 小 学 校	6月16日	大分県人形劇サークル協議会
〃	姫 島 村	240人	姫 島 小 学 校	6月29日	コ ー ル 銀 河
〃	久 住 町	(小中) 500人	久住町中央公民館	7月18日	県 庁 職 員 吹 奏 楽 団
〃	日 田 市	1,000人	日田市中央公民館	8月6日 ～9日	大 分 県 美 術 協 会 (高 山 辰 雄 ジュニア展)
〃	中 津 市	230人	三 保 小 学 校	10月17日	県 庁 職 員 吹 奏 楽 団
〃	安 岐 町	140人	南 安 岐 小 学 校	10月27日	グ ル ー プ U N O
〃	津 久 見 市	90人	保 戸 島 小 学 校	11月16日	〃
〃	〃	80人	保 戸 島 中 学 校	11月16日	〃
〃	中 津 市	240人	南 部 小 学 校	11月21日	大分マンドリンオーケストラ
〃	安 岐 町	300人	安 岐 小 学 校	2月20日	〃
文 化 キ ャ ラ バ ン	佐 伯 市	(一般) 1,000人	佐 伯 文 化 会 館	11月17日 ～19日	大 分 県 美 術 協 会 (日 洋 彫 工 部)
〃	三 光 村	(一般) 200人	三 光 村 中 央 公 民 館	11月22日	大 分 県 洋 舞 踊 協 会

「文化を語る夕べ」盛大に開催

平成10年度の「文化を語る夕べ」が去る12月22日午後6時から、大分市のトキハ会館ローズの間に約300人が集い、盛大に開催されました。1年に1回の文化団体の交流・親睦の場として開催して、本年度で早や第13回目を迎えることになりました。

はじめに仲町会長が挨拶、続いて平松知事がお祝いのご挨拶、続いて芸術文化功労者・県芸術祭賞等受賞者の紹介並びに海外派遣研修者の紹介を行った後、自由歓談となりました。本年は特に第13回国民文化祭おおいた98が開催されたということで皆さんそれぞれの芸術文化活動など、活発に和やかに懇談が続きました。

事務局だより

住所変更・代表者の交替等は事務局へ届出を

会員の皆様には本県芸術文化の振興に御尽力いただき御苦勞様です。

定期総会・会議等で事務局の所在地・代表者の交替・事務局長の異動などに変更がありましたら芸振事務局まで連絡して下さい。

★大分県芸術文化振興会議

〒870-8503 大分市府内町3丁目10-1
大分県教育庁文化課内 TEL(097)536-0522

会費納入についてお願い

振込用紙を同封しております。平成11年度の会費納入をお願いします。

また、平成10年度の会費をお忘れの方、なるべく早く納入してください。

基金運営協議会開催

芸振会議の行う文化事業の振興と円滑な運営を

はかるため、芸振会長の諮問機関として基金運営協議会（委員名簿は下記一覧表）を設置しています。

さる3月19日、平成10年度の基金運営協議会を開催し、平成11年度事業概要などについて審議がなされ、諮問どおり答申が行われました。

大分県芸術文化振興会議基金運営協議会委員一覧表

現 職	氏 名	勤務公署名
大分県商工会議所連合会会長	安藤 昭三	大分銀行
大分経済同友会代表幹事	秋月 陸男	大分スチール株式会社
大分合同新聞社常務取締役	江藤 嘉美	大分合同新聞社
大分県立芸術会館長	立木 稔子	大分県立芸術会館
大分県小・中学校長協議会会長	安部 和男	大分市立金池小学校
国際ソロプチミスト大分会長	松村 和子	
大分県中小企業団体中央会会長	大観 光長	大分県火災共済協同組合
大分県立芸術文化短期大学学長	鶴 元春	大分県立芸術文化短期大学
大分県企画部長	曾根崎和人	大分県庁
大分県教育委員会教育長	田中 恒治	大分県教育委員会

芸振補助事業で開催される計画行事

平成11年4月～9月

行 事 名	開 催 月 日	会 場	主 催 団 体
№15桜花音楽会 in 武漢	4月23日～28日	漢 漢	コ ー ル 銀 河
春の地方演奏会	4月24日	宇 佐	大分大学マンドリンクラブ
第18回大分県バイオリン子供合奏大会	4月29日	大分県立芸術会館	大分ジュニア・オーケストラ
第23回定期演奏会	5月16日	グ ラ ン シ ア タ	大分交響楽団
'99春季大分県美術展(日・洋・彫・工展)	5月25日～30日		大分県美術協会(日洋彫工部)
第24回九州マンドリンフェスティバル	5月30日	熊本市産業文化会館	大分マンドリンオーケストラ
短歌大会 春季、秋季	5月上旬 11月下旬		大分県歌人クラブ
'99春季公募展 大分県美術展書道展	5月中旬	大分県立芸術会館	大分県美術協会(書道部)
'99春季県美展写真展	5月	大分県立芸術会館	大分県美術協会(写真部)
第22回おかあさんコーラス九州大会	6月26日～27日	北 九 州 市	エリカフラウエンコーラス
第22回おかあさんコーラス九州支部大会	6月26日～27日	小倉市戸畑市民会館	明野レディースコーラス
全日本おかあさんコーラス九州支部大会	6月20日	北 九 州	女声コーラス「朝日」
第26回行動大分作家展	6月	大分県立芸術会館	行動大分作家協会
第20回九州国画写真展、長崎巡回展、佐賀巡回展	3月16日～21日 6月 10月	長崎県立芸術会館 九電佐賀イリスギャラリー	九州国画会
第22回全日本合唱おかあさんコーラス九州支部大会	6月		合唱団「藍」
第23回大分県マンドリン連盟フェスティバル	7月中旬	大分県立芸術会館	大分県マンドリン連盟
第29回都山尺八演奏会	7月11日	大分市能楽堂	都山流尺八楽会大分県支部
第12回大分県少年少女合唱祭	8月22日		大分県少年少女合唱連盟
創元会大分支部展	8月23日～29日	レインボービル	創元会大分支部
'99大分二紀展	8月中旬	大分県立芸術会館	大分二紀協会
萬語会みんなようフェスタ99	9月19日	大分市能楽堂	萬語会
第27回大分県音楽コンクール予選会本選会	9月・10月		大分県音楽協会
創作舞踊研究会 第14回公演	9月～11月		創作舞踊研究会
第54回九州合唱コンクール	9月		大分市民合唱団ウイステリアコーラス
花の会ジョイントコンサート	10月8日	長 崎 県	花の会
第28回佐伯市芸術祭	10月23日～11月28日	音の泉ホール 佐伯市文化会館他	佐伯文化振興会
第52回大分県高等学校中央演劇祭	10月28日～31日	大野広域総合文化センター 国東町農村環境改善センター	大分県高等学校文化連盟
第29回国東町総合文化祭(美術部門、芸術部門)	10月30日・31日 11月13・14日	国東町中央公民館 コンパルホール	国東町文化協会
第39回邦楽定期演奏会	10月中旬		大分県三曲協会
第28回「グループUNO」コンサート	10月		グループUNO
瀧廉太郎誕生120年記念コンサート	10月～11月	オアシス中ホール	県民オペラ協会
第29回臼杵市秋の文化祭	10月中旬	臼杵市民会館	臼杵市文化連盟
大分県俳画協会芸術祭参加作品展	11月1日～7日	レインボービル	大分県俳画協会
第29回津久見市文化祭	11月6日～7日	津久見市民会館	津久見市文化協会
第30回玖珠町文化祭	11月13日～14日		玖珠町文化振興会
第30回記念全国詩舞道大会	11月中旬		劇団OITA TOYS CLUB
第16回公演	11月21日		関心流日本興道吟詩会大分県本部
第34回豊光会展	11月下旬～12月上旬	大分県立芸術会館	豊光
第33回音楽祭 LGHIT MUSIC FESUTIVAL99	11月中旬	音の泉ホール	大分県軽音楽連盟
大分県児童文化祭	11月	大 分 市 内	大分県児童文化研究会
大分市子ども劇場協議会特別企画「森は生きている」	11月		大分県子ども劇場連絡会

詳しくは主催団体におたずね下さい。